館報 絆 （きずな）〈令和8年10月号〉
地域住民同士の「つどう」・「まなぶ」・「むすぶ」を支援し、人づくりと地域づくりに貢献します！

打田地区公民館
令和8年10月2日
文責：館長 田村 幸美
電話 77−3140

文化・芸術の秋を公民館で楽しもう！

文化祭 10月31日(土)・11月1日(日) 開催

少し前まで「暑いね」があたり前の挨拶でしたが、めっきり朝晩涼しくなりました。夜に耳を澄ますと虫の鳴き声が聞こえ、心地よさを感じる今日この頃です。みなさんは、どのようなことから、季節の移り変わりを感じるでしょうか。公民館では秋といえば「文化祭」です。主催は文化協会打田支部ですが、地域のみなさんが文化・芸術を感じ楽しめる、地域のまつりとなるように計画してくれています。また、公民館では文化祭を「公民館講座参加者の日ごろの成果発表の場」と位置づけさせていただいています。
今年はゆっくりと色々な世代の方に楽しんでもらえるよう、みなさんのご協力いただきながら、一部の内容を変更し、手作りの祭りですがパワーアップして実施します。是非、お越しください。

文化祭のここがおすすめ♥

①地域の子ども作品展示
小中学校・幼稚園・保育所などにご協力いただき、絵画などの作品を展示します。ECS（子ども対象夏休み公民館体験教室）参加した子どもの「写真」「書道」の作品も展示します。

②ウッドデッキで生演奏やダンス
１日目は新公民館講座「はじめよう！ウクレレ」・継続講座「チャレンジおとなのピアノ塾」受講者による生演奏「楽しく学ぼう手話教室」の受講者などによる手話コーラス、２日目のオープニングでは「おとなのエンジョイダンス塾」受講者およびECSダンスに参加のみなさんが出演してくれます。

③公民館特別企画 11月1日開催の「スペースいばしょ」
子どもの遊び場・居場所「スペースいばしょ」がお送りする「巨大ドームを作ろう」を実施します。ドームの中は秘密基地のよう、風船を飛ばしたりして遊べます。（参加無料）

④その他の企画
みなさんにゆったりと公民館で過ごしてもらおうと、「公民館ｄｅカフェ」のコーナーを設けました。
「スペースいばしょ」の特別企画に加え、紀の川市青少年健全育成連絡協議会打田支部および紀の川市老人クラブ連合会打田支部のご協力で、子どもの楽しめるコーナーを増やしました。（缶バッチ作成・スーパーボールすくい 参加無料）



詳しくはチラシまたはホームページをご覧ください！





～公民館サークル紹介～「ハングルちんぐ」

韓国の文化や語学を楽しく学ぶため、毎月２回、公民館に集まっています。「にぎやかに楽しそうに活動されているな」と様子を見学にいくと、「ユンノリ」というゲーム盛り上がっていました。サイコロの代わりに4本の木の（ユッ）を投げてコマを進め、先にゴールさせる韓国の伝統的なすごろく遊びです。語学の勉強は、反復と継続が大切だと思いますが、楽しく遊びながら韓国語も学べれば素敵ですね。昨年度から、公民館講座「絶対楽しい韓国講座」の受講者も加わり、サークルの人数も増えているようです。



★おもちゃ病院開院に向け… おもちゃドクター養成講座（9/13）

今回の講座は公民館を飛び出して、橋本市で開催しているはしもとおもちゃ病院で実施しました。文化祭時に病院をプレオープンするにあたり、実際どのようにしておもちゃを預かるかなど、先輩ドクターの対応を見学したり、おもちゃを治したりしました。来院者の中には紀の川市からこられた方もおり、当館で開院する意義を感じた次第です。公民館も引き続き病院オープンに向け、バックアップしていきたいと思います。
新米ドクターたちが経験を積むための壊れたおもちゃなどありましたら、公民館までご連絡よろしくお願いします。



病院開院にむけ新米ドクターたちが頑張っています。見守りよろしくお願いします。



★鞆淵八幡神社 国宝の「みこし」がすごい！ 紀の川学（８/22）

企画講座「紀の川学」の第５回目は、和歌山県立博物館学芸員 森香乃氏から、「鞆淵八幡神社の国宝のみこし」についてお話を伺いました。「みこし」は、1229年、はるばる京都府石清水八幡宮から送られてきたもので、証明する送付状も残っています。当時の最先端の技術を用い、とても豪華な工芸細工が施されているそうです。日本最古の「みこし」は非公開ですが、博物館などの展示会や神社の祭礼時（10月１５日）に見ることができるようです。一度は見ておきたいものです。

「みこし」正式名は、「沃懸地螺鈿金銅装神輿（いかけじらでんこんどうそうしんよ）」といいます。長く難しい名前は、その装飾の内容を示しています。（螺鈿：貝殻をはめ込む装飾 沃懸地：蒔絵の伝統技法で、金粉や銀粉をまき漆を塗る）

